

平成 25 年度 卒業論文研究計画書

若者の SNS 利用傾向と影響について

2013 年 7 月 13 日

酒井麻衣子ゼミ

21011004 秋山智尋

1. 背景

今日、SNS という言葉をよく耳にするようになった。ICT 総研の『2013 年 SNS 利用動向に関する調査』によると国内の SNS 利用者はネットユーザーのおよそ半数の 4965 万人ともいわれ、消費者のみにとどまらず著名な企業、政治家など積極的に用いるほどに SNS は一般的になった。こうした SNS の利用に関わるスマートフォンの普及も未だ途上であり、SNS の発展は今後も続くと思われる。

SNS が現れたのは 2000 年代のインターネットにブログや掲示板ができ、一般消費者のインターネットでの相互情報交換が容易になった頃で、SNS もブログや掲示板に似た特色を持つ。この特色として「情報の受発信者が多いこと」、「現実とは異なる人とのつながりができること」、「瞬間的に情報が行き来すること」などが挙げられ、インターネットの接続環境下であれば情報の行き来の制限は少ない。

そうしたメリットもあり、平成 23 年度の総務省の調査『次世代 ICT 社会の実現がもたらす可能性に関する調査』によると、一般的な SNS の利用目的として「情報収集のため」と「同じ趣味・嗜好を持つ人を探すため」、「もともとの知人とのコミュニケーションをとるため」といったことを目的に用いる人が多い。またそれ以外の使い方として、企業が直接消費者と関わりの持てる新しい広告手段として用いたり、政治家が同じ見解を持つ政治家同士や有権者などの意見を公に受けることのできる場として用いたりすることがある。

そしてこの SNS の情報流通を支えているのが若者の存在であると以下の総務省の記述から読み取れる。「Twitter、SNS に代表されるソーシャルメディアでの N 対 N のリアルタイムの情報流通は複数のソーシャルメディアを使いこなす若者が牽引している」総務省「平成 23 年度情報通信白書」〈<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h23/html/nc232320.html>〉(2013/7/12 閲覧)。しかし、平成 22 年度に財団法人東京広告協会が大学生対象に行った調査『大学生の SNS に関する意識調査』では「同じ趣味・関心を持った人を見つけるため」が利用目的の中で 8 番目に多い目的となっており、2 番目に多かった総務省の全年齢対象の調査結果とは差が見られた。こうしたことから若者とそれ以外の年齢層では SNS の利用目的に差があり、若者には若者の SNS の使い方の

特徴があるのではないかと考えた。

したがって、本論文では若者の SNS 利用状況を詳細に調査し、利用傾向ごとのメリット、デメリットを調査していくことで若者が SNS を利用する影響について考察していきたい。

2.研究方法(未定)

若者の SNS 利用実態調査

調査対象：大学生

調査方法：留め置き法による質問紙調査

調査内容：利用している SNS、一度の利用時間、利用目的、メリット・デメリット など

3.今後のスケジュール

8月：調査紙の作成

9月：プレ調査実施／調査紙の修正

10月：本調査実施／調査結果の集計・分析

11月：調査結果のまとめ／仮説の検証・考察／結論・今後の課題

12月：推敲・清書／論文完成(予定)

4.参考文献

ICT 総研

<http://www.rbbtoday.com/article/2013/05/30/108575.html> (2013/6/25 閲覧)

厚生労働省 平成 23 年版 労働経済の分析

<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/11/dl/02-1-4.pdf> (2013/6/18 閲覧)

総務省 情報通信統計データベース インターネットの普及率の推移

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/index.html> (2013/6/15 閲覧)

総務省 平成 24 年度版 情報通信白書

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/pdf/n2020000.pdf>
(2013/6/25 閲覧)

インプレス R&D スマートフォン/ケータイ利用動向調査 2013

<http://www.impressrd.jp/news/121120/kwp2013> (2013/6/25 閲覧)

SPI 日本人と SNS の実態 第一弾

http://www.spi-consultants.com/ja/spi_index/0042.html (2013/6/25 閲覧)

社団法人東京広告協会 大学生の SNS に関する意識調査

<http://www.tokyo-ad.or.jp/pdf/FUTURE2010.pdf> (2013/7/12 閲覧)